

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	248	
部 局 名	産業観光部	所 属 名 観光振興課
事務事業名	00674 旧竹林院管理運営事業	所 属 長 川島 英和 記 入 者 田尾 一樹

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市旧竹林院の設置及び管理に関する条例 第2期天津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	旧竹林院管理運営事業費	

事業の概要
平成5年4月に開設、平成18年度から指定管理者制度を導入し、天津市の主要な観光地である坂本の拠点施設として効率的な管理を行う。また、各種媒体を通じたPRや坂本観光協会等と共同したイベントを実施し、誘客増に努める。
なお、耐震改修工事を終えて、平成26年9月からリニューアルオープンをしている。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	坂本地区への観光客の増加を図るため
対象 (何又は誰を)	旧竹林院を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果 (どのような状態にするのか)	入館者を増やす。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		3,577	3,567	3,559	3,559	3,269	
人件費 B		4,100	4,150	4,100	4,920	4,920	
事業費合計 A+B		7,677	7,717	7,659	8,479	8,189	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	7,677	7,717	7,659	8,479	8,189	
職員数(人)		0.50	0.50	0.50	0.60	0.60	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	0.50	0.60	0.60	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	管理運営費	千円	目標	3,500	3,500	3,500	3,500	3,200
		実績		3,500	3,490	3,480	-	-	
	旧竹林院の管理運営に要する経費								
2	開園日数		日	目標	308	308	308	308	308
				実績	319	325	284	-	-
	年間開園日数								
成果指標	1	入園者数	人	目標	30,000	30,000	30,000	53,600	53,600
		実績		26,251	53,600	27,770	-	-	
	年間入園者数								
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	比叡山延暦寺の門前町であり、伝統的建造物群保存地区として街並みなど優れた観光資源がある坂本は、大河ドラマ「麒麟が来る」の放映で注目されたが、コロナ禍による外出自粛が影響し、観光客は減少している。	
これまでの見直しや改善等の経過	指定管理者制度による効率的な管理を行ってきた。昨年度まで、座卓を利用したリフレクション撮影等で来館者は大幅な増加傾向であった。コロナ禍による来館者減少の中、メディア対応・自主事業開催等の対策をした。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	国指定名勝庭園や市指定文化財である茶室、四阿があり、坂本地域の観光の拠点施設であり、その価値を広く一般に公開する必要があるため。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	コロナ禍により、入館者は前年度比48%減となったが、これまでの情報発信が浸透し、認知度が上がってきたことによる新規来館者獲得、名勝庭園の美観維持が奏功したことによるリピーター確保を理由とし、目標値に近い来館者数となった。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者制度の導入により効率的な運営や、様々なイベントが実施できている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	本施設はSNSでの情報発信により、多くのメディアに取り上げられ、コロナ禍においても一定の来館者数が維持されたことでも分かるのとおり、坂本地域への誘客の一翼を担っている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	アフターコロナにおいて選ばれる観光スポットとなるため、新型コロナウイルス感染症対策の実施、メディア・SNSによる情報発信を引き続き行っていく。さらに、MICE推進におけるユニークベニュー利用等を促進し、非日常空間を多くの方々に体験していただくことで、旧竹林院の魅力向上、ブランド化を進めていく。
部局長コメント	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、周辺地域と一体となり、ユニークベニュー、ワーケーション等の拠点整備を始め、魅力度を付加した運営が指定管理者によって図られるよう進めていくこと。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	87.50 %	178.66 %	92.56 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+104.18 %	-48.19 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	2 千円	2 千円	2 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-50.76 %	+91.56 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	249				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	00675	曳山展示館管理運営事業	記 入 者	田尾 一樹	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市天津祭曳山展示館条例 第2期天津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	曳山展示館管理運営事業費	

事業の概要
平成3年12月に開館、平成18年度から指定管理者制度を導入し、効率的な管理を行っている。天津祭の曳山の原寸大模型をはじめ、祭を広く周知するための展示を行っている。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	天津祭を広く周知し、街歩き観光の拠点としての機能を発揮するため
対象 (何又は誰を)	天津祭曳山展示館を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRにより
成果 (どのような状態にするのか)	入館者が増加するとともに、天津祭の魅力が広く周知される。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		11,566	11,664	11,804	11,410	11,410	
人件費 B		2,050	2,075	2,050	2,050	2,050	
事業費合計 A+B		13,616	13,739	13,854	13,460	13,460	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	13,616	13,739	13,854	13,460	13,460	
職員数(人)		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員数 の内訳	正 規	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
	嘱 託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨 時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	管理運営費	千円	目標	11,340	11,340	11,340	11,060	11,060	
		実績		11,261	11,400	11,474	-	-		
	曳山展示館の管理運営に要する経費									
	2	開館日数	日	目標	308	308	308	308	308	
実績		308		309	270	-	-			
年間開館日数										
成果指標	1	入館者数	人	目標	40,000	40,000	40,000	29,000	29,000	
		実績		36,786	29,041	14,825	-	-		
	年間入館者数									
	2			目標						
		実績								

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	大津祭は、大津三大祭の一つであり、平成28年3月に国の重要無形民俗文化財の指定を受けた。大津祭の魅力発信、地域の人々の盛り上がりにつながったが、新型コロナ拡大により施設の一時閉館、大津祭中止となった。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成22年度に映像等の大規模改修を実施し、平成23年4月からリニューアルオープンした。館内の説明パネルの多言語化、屋上防水工事等を実施してきた。次年度以降、入館料の検討を行う方針を立てた。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	国の重要無形民俗文化財である大津祭の魅力を周知するための施設は、民間による整備は難しく、市が整備した上で管理を民間に任すことが望ましい。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	新型コロナ拡大に伴い大津祭が中止となり、来館者数が大幅減となったが、小学校の校外学習、大学や企業の研修の利用は継続されており、祭の歴史及び伝統の継承が続いていることは評価できる。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者制度の導入により、効率的な運営や、様々なイベントが実施できている。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	大津祭に造詣の深い団体の運営による入館者への十分な説明や展示の充実により、大津祭の周知と、歴史・伝統の継承が図られており、誘客の促進にもつなげている。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、入館者数が落ち込んでいるが、引き続き大津の歴史と文化を伝える取り組みに努め、来館者増加を目標に施設を運営していく。また、施設使用料設定基準に基づく入館料導入を検討すること、施設老朽化に対して適切な対策を取っていくことも今後の方向性に位置づける。</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、入館有料化の検討と併せて、歴史的風致維持向上計画、各種事業と連携し積極的なPRが図られるよう進めていくこと。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	91.96 %	72.60 %	37.06 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-21.05 %	-48.95 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1 千円	1 千円	1 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+27.81 %	+97.53 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	250				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	00676 温泉維持管理事業	記 入 者	下田 剛史		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市雄琴温泉供給条例 ・天津市温泉保養交流施設条例 第2期天津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	温泉維持管理事業費	

事業の概要
雄琴温泉の旅館に対して安定して良質な温泉を供給するため、泉源を含めた温泉供給施設の適正な維持管理を実施する。温泉保養交流施設「比良とびあ」を市北部地域の観光拠点として管理運営を行う。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	天津市の主要な観光地である雄琴温泉や市北部の観光拠点である比良とびあのPRと誘客増を図るため
対象 (何又は誰を)	雄琴温泉の施設や比良とびあの管理運営を
手段 (どのようなやり方で)	雄琴温泉設備については修繕や定期点検等の維持管理と、比良とびあについては指定管理者制度を導入し
成果 (どのような状態にするのか)	安定した温泉供給や指定管理者の工夫により、温泉を中心としたPRと来訪者数の増加を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		13,226	11,964	14,113	10,983	24,723	
人件費 B		4,100	4,150	4,100	4,100	4,100	
事業費合計 A+B		17,326	16,114	18,213	15,083	28,823	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	12,532	12,020	5,700	10,983	10,983	温泉使用料
	一般財源	4,794	4,094	12,513	4,100	17,840	
職員数(人)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	雄琴温泉供給日数	日	目標	365	366	365	365	365
				実績	365	366	365	-	-
	年間温泉供給日数								
	2	比良とびあ開館日数	日	目標	360	360	360	360	360
実績				362	363	317	-	-	
年間開館日数									
成果指標	1	比良とびあ利用者数	人	目標	122,000	122,000	122,000	113,300	113,300
				実績	119,773	113,393	80,717	-	-
	年間利用者数								
	2	雄琴地区観光入り込み数	人	目標	1,000,000	1,000,000	1,000,000	922,400	922,400
実績				976,200	922,413	505,109	-	-	
年間入り込み数(暦年)									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	びわ湖や世界遺産比叡山延暦寺、比叡比良の山並み等優れた観光資源に囲まれ、都市近郊の観光地としてのメリットを有している。大雨等の自然災害や、新型コロナウイルスの影響で、利用者数が伸び悩んでいる。		
これまでの見直しや改善等の経過	おごと温泉は、新型コロナにより半年間の温泉使用料の減免を行い、三方弁修繕と温泉配管等漏水緊急修繕工事を実施した。比良とびあは、ドライミストサウナ及び配管バルブ修繕と大浴場の濾過器濾材入替修繕を行った。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	温泉設備については、大規模で複雑な供給管が道路に埋設されており、また温泉の汲み上げ量は温泉全体で管理する必要があることから、複数の旅館に供給するためには市営が望ましい。比良とびあについては、地元から用地の賃借を受けている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	おごと温泉の入込客数と比良とびあの利用者数については、それぞれ前年実績と目標値を下回っている。新型コロナウイルスの影響で厳しい結果となった。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	おごと温泉の維持管理費は、一部を温泉使用料で賄っている。比良とびあについては、指定管理者による管理委託料を要しない運営が図られてきた。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	毎年、一定数の入込客数を確保し、都市近郊の温泉地として本市の主要な観光地である。また、おごと温泉では入湯税収入もあり、施策に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	<p>大津では数少ない温泉施設であることを有効に活かし、他施設との連携等周辺地域と協力のもと集客に努める。また比良とびあについては収支環境改善に向けて料金体系の見直しを図る。</p>
部局長コメント	今後も温泉設備の適正な管理と安定供給に努め、周辺地域等と連携し事業展開を図っていくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標達成率	指標 1	98.17 %	92.94 %	66.16 %
	指標 2	97.62 %	92.24 %	50.51 %
成果増減率	指標 1	- %	-5.32 %	-28.81 %
	指標 2	- %	-5.50 %	-45.24 %
活動単位コスト	指標 1	47 千円	44 千円	49 千円
	指標 2	47 千円	44 千円	57 千円
成果単位コスト	指標 1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標 2	0 千円	0 千円	0 千円
コスト増減率		- %	-1.66 %	+82.59 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	251				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	00678	公人屋敷管理運営事業	記 入 者	木村 高志	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市公人屋敷の設置及び管理に関する条例 第2期天津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	公人屋敷管理運営事業費	

事業の概要
平成17年11月に公人屋敷として開設するとともに指定管理者制度を導入し、天津市の主要な観光地である坂本の拠点施設として効率的な管理を行う。また、各種媒体を通じたPRや坂本観光協会等と共同したイベントを実施し、誘客増に努める。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	坂本地区への観光客の増加を図るため
対象 (何又は誰を)	公人屋敷を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果 (どのような状態にするのか)	入館者を増やす。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		3,952	3,973	3,991	3,989	3,880	
人件費 B		2,050	2,075	2,050	2,050	2,050	
事業費合計 A+B		6,002	6,048	6,041	6,039	5,930	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	6,002	6,048	6,041	6,039	5,930	
職員数(人)		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員数の内訳	正規	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	管理運営費	千円	目標	3,950	3,970	3,989	3,989	3,880
		実績		3,950	3,970	3,989	-	-	
	公人屋敷の管理運営に関する経費								
	2	開館日数	日	目標	303	303	303	303	303
実績		306		307	266	-	-		
成果指標	1	入館者数	人	目標	3,600	3,600	3,600	3,700	3,700
		実績		2,780	3,709	2,437	-	-	
	年間入館者数								
	2			目標					
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	比叡山延暦寺の門前町で伝統的建造物保存地区として優れた観光資源がある坂本は、大河ドラマ「麒麟が来る」の放映で注目されたが、コロナ禍により観光客は減少しており、コロナ後を見据えた取組みが求められている。	
これまでの見直しや改善等の経過	指定管理者制度による効率的な管理を行ってきた。また、入館者数増加のため、坂本地域の住民による「公人屋敷を考える会」を立ち上げ、地域に眠る歴史的な資料等の展示など、新たな自主事業に取り組んでいる。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市の文化財である主屋、米蔵、馬屋を持つ公人屋敷は、坂本地域の観光資源であり、その価値を広く一般に公開する必要があるため。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	「公人屋敷を考える会」で出た提案や提供された資料の展示、関係機関等と連携した様々な自主事業を展開するなど、入館者数増加のための施策を展開している。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者制度を導入し、効率的な運営に取り組んでいる。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月～5月に閉館しており、その後も観光需要の縮小から目標に及ばなかった。絶対数が少ないため、施策への貢献度は大きくない。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>昨年度放送された大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀に関連した展示や新規イベントの展開、関係機関との連携、一昨年度入館者数が増加した旧竹林院のようなSNSによる情報発信などの入館者数増加策を指定管理者とともに検討・実行し、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、入館者数の増加を目指す。</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、地域と連携したイベントや展示等を通じて、魅力向上と入館者増が図られるよう進めていくこと。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
目標達成率	指標1	77.22 %	103.02 %	67.69 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+33.41 %	-34.29 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1 千円	1 千円	1 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	2 千円	1 千円	2 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	-24.47 %	+52.01 %	

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	252				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	00679	文化観光振興等助成事業	記 入 者	福井 美穂	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市文化観光振興基金 条例、天津市文化観光振興 助成金交付要綱	
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関連する 個別計画		第2期天津市観光交流基 本計画
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進			
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進			
重事	01	来訪者の受入れ体制整備				

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00792	文化財保存修理等補助事業	2406	文化財保護課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	文化観光振興等助成事業費	

事業の概要
観光交流に寄与する文化財等を保存、継承、活用するための天津市文化観光振興基金を設置し、修繕等の事業経費の一部について支援している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	観光資源となる文化財等を保存、継承、活用し、もって観光交流に資するため
対象 (何又は誰を)	助成対象事業を実施する個人または団体
手段 (どのようなやり方で)	助成対象事業の経費の一部を助成金として交付する。
成果 (どのような状態にするのか)	観光資源となる文化財等を保存、継承、活用することによる観光入込客数の増加する。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		155	279	4,702	31	31	
人件費 B		2,050	4,150	2,460	2,460	2,460	
事業費合計 A+B		2,205	4,429	7,162	2,491	2,491	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	155	279	4,702	31	31	文化観光振興基金
	一般財源	2,050	4,150	2,460	2,460	2,460	
職員数(人)		0.25	0.50	0.30	0.30	0.30	
職員数 の内訳	正規	0.25	0.50	0.30	0.30	0.30	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	助成金額	千円	目標	310	301	300	300	300
				実績	155	279	4,702	-	-
	個人または団体への助成金額								
2	助成件数		件	目標	2	2	2	2	2
				実績	5	2	3	-	-
	個人または団体が実施する事業に対する助成件数								
成果指標	1	大津祭の来訪者数	千人	目標	153	153	153	140	140
				実績	160	140	0	-	-
	大津祭観光入込客数(大津祭曳山保存修理に係る費用助成効果)								
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	本市の観光資源でもある文化財の保全、及び継承は重要なことであり、使用に伴う修繕費が所有者の負担にならないように負担軽減策を講ずることが必要である。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成8年に「大津市文化観光振興基金条例」を制定。平成10年に「大津市文化観光振興助成金交付要綱」制定。平成31年度から「大津市文化観光振興助成金審査委員会設置要綱」廃止。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	各種団体が所有する文化財の修繕費用を市が一部負担することで、文化財としての価値を保ちながら、重要な観光資源として活用することができる。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	文化財の保護と利活用を、市の観光に結び付けた手法には有効性があるが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い大津祭等が中止となった。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	文化財の修繕費用を一部助成することにより、文化財としての価値を損なうことなく、継続的な観光資源として利活用できている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市の歴史遺産や文化財の保全は、観光資源の確保にもつながり、重要である。
---------	--	-------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	文化財の保護や利活用に関しては、文化財保護課との協働が不可欠であり、今後も協力して効率的に事業を推進する。
部局長コメント	新型コロナウイルス感染症流行後の観光振興に備え、引き続き実効性のある保護と利活用に努めること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	104.57 %	91.50 %	0.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-12.50 %	-100.00 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	14 千円	15 千円	1 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	13 千円	31 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+129.55 %	±0.00 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	253	
部 局 名	産業観光部	所 属 名 観光振興課
事務事業名	00683 観光案内所管理運営事業	所 属 長 川島 英和 記 入 者 木村 高志

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	第 2 期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関 連 する 個別計画	
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			
関連事業	コード	事 務 事 業 名 称		コード	所 属 名 称
予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	特定	評価対象事業	観光案内所管理運営事業費	
事業の概要	大津市観光の玄関口であるJR大津駅、堅田駅前、京阪石山駅と、主要な観光地の志賀、坂本及び石山寺に観光案内所を開設、さらには市内外のイベント等において臨時のサテライト観光案内所を設置し、観光客に対するきめ細やかな情報提供、パンフレット類の配布及びイベントのPR等を行う。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	来訪者が求める観光情報を提供するために
対象 (何又は誰を)	観光案内所を
手段 (どのようなやり方で)	観光拠点となる場所に設置するとともに、観光案内所や観光資源の場所を分かりやすく誘導表示を行ったり、来訪者のニーズに応えられる情報や地元でしか入手できない情報を収集し、伝えることで
成果 (どのような状態にするのか)	大津の魅力を伝え、大津ファンを増やし、来訪者の増加に貢献する。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		51,968	43,746	33,217	39,547	39,927	
人件費 B		6,150	5,810	4,920	4,920	4,920	
事業費合計 A+B		58,118	49,556	38,137	44,467	44,847	
事業費 の財源 内 訳	国	0	2,900	3,124	200	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	2,314	2,870	2,522	2,873	2,873	大津駅レンタサイクル利用料収入
	一般財源	55,804	43,786	32,491	41,394	41,974	
職 員 数 (人)		0.75	0.70	0.60	0.60	0.60	
職員数 の内訳	正 規	0.75	0.70	0.60	0.60	0.60	
	嘱 託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨 時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	年間営業日数	日	目標	359	360	359	359	359
				実績	359	360	315	-	-
2				目標					
				実績					
成果指標	1	観光案内所利用人数	人	目標	120,000	120,000	120,000	194,900	194,900
				実績	189,822	194,862	103,202	-	-
2		観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	12,903	12,903
				実績	13,450	12,903	7,563	-	-
		1月～12月の観光入込客数							

＜5. 評価＞ CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	個人やグループによるまち歩き型の観光が増え、着地型観光の案内が非常に重要になってきており、観光拠点に関する情報提供等受入環境整備の機能向上が求められる。	
これまでの見直しや改善等の経過	各観光案内所への誘導看板の設置や英語対応が可能な人材配置及びWiFiの設置を行うとともに、大津駅観光案内所では平成29年度に物販スペースを拡大し、平成30年度には来訪者に商品の試食試飲を開始した。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="checked" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	無料のサービスであり、特定の施設や業種に偏ることなく広く情報を発信する事業であることから、来訪者は快適に利用することができる。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="checked" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	近年観光案内所利用者数は横ばいながら目標値を大きく上回っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、案内所の一時閉鎖や観光客の減少により落ち込んだ。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="checked" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	主要な駅や観光地に観光案内所を配置しており、利用者にとって利便性が高く効率的である。
総合評価	<input checked="checked" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適切 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="checked" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	着地型観光情報の提供により、来訪者の滞在時間を長くすることで、観光地が活性化するとともに、市民と来訪者の交流を図ることができる。実際に、大津市内の観光施設のイベント開催時には、多くの市民や観光客が観光案内所を利用されている。
---------	---	--

＜6. 今後の方向性＞ ACTION

方向性	<input checked="checked" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
	観光拠点の情報発信基地として受入環境整備を行うことで来訪者の満足度や利便性の向上を図り、より効率的な運営に努める。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、市外、県外からの利用が少なくなることを見据え、地元の方が地元の良さを改めて知ることのできるイベントの提供、ニッチな観光情報の提供等を検討していく。
部局長コメント	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、周辺事業者等と連携のもと効果的な事業展開を図るとともに、来訪者の満足度を高める情報提供に努めること。

＜7. 評価分析＞ ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	158.18 %	162.38 %	86.00 %
	指標2	96.07 %	92.16 %	54.02 %
成果増減率	指標1	- %	+2.65 %	-47.03 %
	指標2	- %	-4.06 %	-41.38 %
活動単位コスト	指標1	161 千円	137 千円	121 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	4 千円	3 千円	5 千円
コスト増減率		- %	-14.02 %	+38.29 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	254	
部局名	産業観光部	所属名 観光振興課
事務事業名	00686 観光振興事業	所属長 川島 英和 記入者 福井 美穂

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	天津市補助金等交付規則
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関連する個別計画	第2期天津市観光交流基本計画
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	観光振興事業費	
事業の概要	各種団体に対する負担金や天津三大祭等の各地域のイベント経費の一部について支援している。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	観光交流の推進及び来訪者の増加による滞在時間の延伸と観光消費額の増加を図るため。
対象 (何又は誰を)	市内各地域の観光協会や観光関連事業者など。
手段 (どのようなやり方で)	地域住民や観光関連事業者との関係性を築き、合意形成を図りながら協働による事業推進を行う。
成果 (どのような状態にするのか)	観光交流事業の推進及び観光入込客数の増加

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		47,507	47,008	19,894	49,841	49,841	
人件費 B		8,200	6,640	6,560	6,560	6,560	
事業費合計 A+B		55,707	53,648	26,454	56,401	56,401	
事業費の内訳	国	4,758	4,758	0	0	0	地方創生推進交付金
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	20,850	0	0	0	0	地域振興基金
	一般財源	30,099	48,890	26,454	56,401	56,401	
職員数(人)		1.00	0.80	0.80	0.80	0.80	
職員数の内訳	正規	1.00	0.80	0.80	0.80	0.80	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指標名	単位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	補助金額	千円	目標	56,491	56,491	48,041	48,793	48,558
		実績		47,507	47,008	12,736	-	-	
	会費、負担金、補助金総額								
2	補助事業数		件	目標	20	20	20	20	20
				実績	19	18	20	-	-
	会費、負担金、補助金延件数								
成果指標	1	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	12,903	12,903
		実績		13,430	12,903	7,563	-	-	
	1月～12月までの観光入込客数								
2				目標					
				実績					

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	255	
部 局 名	産業観光部	所 属 名
事務事業名	01931 観光交流推進事業	所 属 長
		記 入 者
		川島 英和
		松本 久孝

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	第 2 期 大 津 市 観 光 交 流 基 本 計 画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受け入れ体制整備	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	観光交流推進事業費	

事業の概要
 平成29年度から令和2年度までを期間とする第2期大津市観光交流基本計画では、目指す姿として「選ばれる観光地」を掲げている。同計画に基づき、他の観光地と差別化できる大津ならではの良さを磨き上げを行い、オンリーワンのびわ湖を基調とした3つのテーマ（びわ湖リゾート、歴史・文化体験の宝湖、スポーツ観光の聖地）に沿って様々な施策に取り組む。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（会費負担）

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	観光交流の推進や観光客（来訪者）の増加による滞在時間の延伸と観光消費額の増加を図るため。
対象 (何又は誰を)	市内各地域の観光協会や観光関連事業者など。市内に点在する観光資源等を活用する。
手段 (どのようなやり方で)	地域住民や観光関連事業者との関係性を築き、合意形成を図りながら事業推進を行う。
成果 (どのような状態にするのか)	本市の知名度向上とともに、観光入込客数が増加し、市内周遊が促進され、観光消費額が増加する。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	53,989	51,946	107,423	39,260	41,175	
人件費	B	26,125	26,435	34,129	34,129	34,129	
事業費合計 A+B		80,114	78,381	141,552	73,389	75,304	
事業費の財源内訳	国	18,222	3,393	96,573	9,000	3,000	地創推進交・臨コ交・誘客多角化
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	614	2,939	0	湖都大津まちづくり基金
	一般財源	61,892	74,988	44,365	61,450	72,304	
職員数(人)		3.50	3.50	4.60	4.60	4.60	
職員数の内訳	正規	3.00	3.00	3.90	3.90	3.90	
	嘱託	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.70	0.70	0.70	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	負担金額	千円	目標	6,650	6,650	25,065	65,860	6,650	
				実績	12,310	37,090	19,895	-	-	
	会費、負担金、補助金総額									
	2	負担金及び補助金の件数	件	目標	7	7	7	7	7	
実績				8	11	9	-	-		
負担金、補助金の件数										
成果指標	1	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	12,903	12,903	
				実績	13,430	12,903	7,563	-	-	
	1月～12月の観光入込客数									
	2				目標					
			実績							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	新型コロナウイルス感染症の影響化においても、新しい生活様式に沿った観光誘客の取り組みを行ったが、感染症拡大防止が最優先であり、人流を抑制しながらの対策は非常に困難であった。	
これまでの見直しや改善等の経過	新型コロナウイルス感染症影響下における対応と収束後の回復期を見据えた観光戦略を策定し、感染症対策を行いながらも新しい生活様式にあった新たなニーズ等に対応した観光誘客に取り組む。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	観光関連事業などが主体となり、継続的な取り組みに繋がっている。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、一定の下支えを行っており、有効性はある。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	SNS等幅広いコンテンツで本市の魅力を積極的に発信しており、今後も新しい生活様式に合わせ、より効率性の高い手法を検討していく。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	社会的要因による影響は大きいですが、市内観光資源の魅力や価値の再認識・活用により、更なる観光客の誘客促進につながる方向で着実に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	新しい生活様式などアフターコロナにあわせバランスの取れた観光誘客策を検討する。検討に当たってはMICE誘致を含め、琵琶湖疏水、坂本をはじめとする歴史の残る地域、ピワイチなど本市ならではの観光資産を継続して活用していく方向で市内周遊の充実を目指す。
部局長コメント	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、国や県の施策と連携のもと、観光ニーズを捉えた効果的な事業展開を図るとともに、来訪者の満足度を高める情報提供に努めること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	95.92 %	92.16 %	54.02 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-3.92 %	-41.38 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	6 千円	2 千円	7 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	5 千円	6 千円	18 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+1.83 %	+208.10 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	256				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	02121	おごと温泉観光公園管理運営事業		記 入 者	下田 剛史

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市おごと温泉観光公園条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関連する個別計画	第2期大津市観光交流基本計画
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	おごと温泉観光公園管理運営事業費	

事業の概要	大津市の主要な観光地であるおごと温泉エリア内に、来訪者に癒しと交流の場を与えるため、足湯や公園及び地元物産の展示販売、飲食の提供、周辺の観光案内を行う新たな観光拠点を整備し、指定管理者制度導入による効率的な運営とおごと温泉への誘客増を図る。
-------	--

運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	おごと温泉への誘客増と地域住民や観光客の交流を促進するため
対象 (何又は誰を)	おごと温泉観光公園を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果 (どのような状態にするのか)	おごと温泉観光公園やおごと温泉に多くの観光客が訪れ、地元物産を購入し、帰られた後もおごと温泉をPRしていただけるようにする。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		17,945	16,844	16,809	16,878	16,995	
人件費 B		4,100	4,150	3,280	3,280	3,280	
事業費合計 A+B		22,045	20,994	20,089	20,158	20,275	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	204	167	0	0	0	自主事業収入還元金
	一般財源	21,841	20,827	20,089	20,158	20,275	
職員数(人)		0.50	0.50	0.40	0.40	0.40	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	開場日数	日	目標	358	359	358	358	358
				実績	360	360	317	-	-
2				目標					
				実績					
成果指標	1	おごと温泉観光公園入り込み客数	人	目標	80,000	80,000	80,000	54,800	54,800
				実績	65,722	54,796	39,838	-	-
2		年間の入り込み客数		目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市の主要な観光地である雄琴地区は、都市近郊にありながら温泉を有し、また世界遺産である比叡山延暦寺や歴史的景観に優れた坂本地区に近く、多くの観光客が訪れる。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成23年2月の開設と同時に指定管理者制度を導入、効率的な維持管理に取り組んでおり、指定管理者による様々な誘客策が講じられている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	宿泊客のみならず日帰り客や来訪者等も対象にした施設で、足湯や地元物産の展示等、雄琴地域を中心に近隣の観光地をつなぐ拠点であり、観光情報の発信基地である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	指定管理者が各種集客イベントを実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、前年実績と目標を下回っている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	公園、足湯、物産展示、観光案内等の複合施設であることから、指定管理者を導入することで、より効率的に管理できている。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	雄琴地域を中心に近隣の観光地をつなぐ拠点であり、観光情報の発信基地として機能しており、来訪者や近隣住民の交流の場となっている。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	指定管理者と連携し、魅力ある事業運営が図られるよう進めていくことで、おごと温泉観光公園の来訪者を新型コロナウイルス感染症感染拡大以前の水準まで増加させる。
部局長コメント	指定管理者によってコンテンツの充実等の積極的な運営が図られるよう進めていくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	82.15 %	68.49 %	49.79 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-16.62 %	-27.29 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	61 千円	58 千円	63 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+14.22 %	+31.61 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	257		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課
事務事業名	04045 MICE推進事業費	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	山田 創

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	第2期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備		関連する個別計画	
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	MICE推進事業費	
事業の概要	MICE推進は地域への経済効果が高く、ビジネス・インベーション機会の創造、開催都市の国際的認知度やブランド方向向上が期待できる。本市の強みである、京都・大阪からのアクセスの良さ、豊かな自然と歴史文化、湖岸エリア一帯の多種多様な施設を最大限に活用し、MICE推進に取り組むことで、地域の経済活性化や魅力の向上を図る。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	MICE開催件数の増加及び参加者の満足度向上のため
対象 (何又は誰を)	MICE関係者
手段 (どのようなやり方で)	誘致活動、情報発信及び受入体制の整備により
成果 (どのような状態にするのか)	MICE関連消費額が増加し、経済波及効果が高まることにより地域の活性化につながる

＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		0	0	6,316	20,350	48,320	
人件費 B		0	0	19,781	19,781	19,781	
事業費合計 A+B		0	0	26,097	40,131	68,101	
事業費の内訳	国	0	0	550	3,000	1,500	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	25,547	37,131	66,601	
職員数(人)		0.00	0.00	2.60	2.60	2.60	
職員数の内訳	正規	0.00	0.00	2.30	2.30	2.30	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	医療機関、大学、企業等訪問件数	件	目標	0	0	30	30	30
				実績	0	0	0	-	-
	医療機関、大学、企業等へのセールス実施				目標				
					実績				
成果指標	1	新規MICE誘致件数	件	目標	0	0	2	2	2
				実績	0	0	0	-	-
	MICE誘致件数				目標				
					実績				

＜5. 評価＞ CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	コロナ禍により、著しく減少したMICE需要を、ハイブリッド開催のようなニューノーマル形態を念頭に、MICE誘致を推進していく必要がある。		
これまでの見直しや改善等の経過	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、思うような誘致活動が実施できなかった。情報収集や現状分析については十分に実施できたので、その結果を元に次年度以降の誘致に繋げる。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	コロナ禍により誘致活動等は実施できなかったが、ターゲットとするMICE種別の検討や解決すべき課題の洗い出し等を行った。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	コロナ禍により誘致活動を実施することが出来なかったため、経済波及効果を高めることができなかった。	
効率性 (事業手法は効率的であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	びわこデジタルズビューローや市内関連事業者との連携により、情報共有及び誘致に向けた体制整備等を行った。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	コロナ禍で誘致活動が制限される中でも、ヒアリング等の地道な活動により課題抽出や必要施策の立案など着実に成果が生まれている。
---------	--	---

＜6. 今後の方向性＞ ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	令和2年度は「MICEに係る現状調査」を実施し、本市が関係機関と連携して行うMICE推進体制の構築や誘致活動の方向性の検討を実施した。今後は、方向性の検討結果を基にし、具体的なMICE戦略の策定と並行して、誘致活動に取り組んでいく。
部局長コメント	MICE戦略策定に加えて、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、効率的かつ効果的な誘致活動に努めること。	

＜7. 評価分析＞ ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
目標達成率	指標1	0.00 %	0.00 %	0.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	±0.00 %	±0.00 %	

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	258	
部 局 名	産業観光部	所 属 名 観光振興課
事務事業名	02615 インバウンド国際観光推進事業	所 属 長 川島 英和 記 入 者 山田 創

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	第2期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	02	インバウンド観光への情報発信		
重事	01	インバウンド事業の推進	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	インバウンド国際観光推進事業費	

事業の概要
 外国からの来訪者に対し、情報発信及び受入体制の整備を図り、来訪者の増加及び滞在時間の延長から観光消費額の増額を通して、地域の活性化を図る。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 (負担金)

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	来訪者数の増加及び滞在時間の延長のため
対象 (何又は誰を)	外国からの来訪者
手段 (どのようなやり方で)	情報発信や受入体制の整備により
成果 (どのような状態にするのか)	観光消費額が増加し、地域の活性化につながる。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		49,419	38,568	3,564	5,430	5,980	
人件費 B		32,275	30,585	9,634	9,634	9,634	
事業費合計 A+B		81,694	69,153	13,198	15,064	15,614	
事業費の内訳	国	10,716	10,716	1,450	1,800	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	70,978	58,437	11,748	13,264	15,614	
職員数(人)		4.25	4.00	1.30	1.30	1.30	
職員数の内訳	正規	3.75	3.50	1.10	1.10	1.10	
	嘱託	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	市政府、団体、旅行会社等訪問数	社	目標	36	36	36	34	34
				実績	68	34	0	-	-
	市政府、団体、旅行会社などの現地セールス及びFAMツアーの実施								
	2				目標				
			実績						
成果指標	1	外国人宿泊者数	千人	目標	210	210	210	197	197
				実績	205	197	23	-	-
	市内宿泊施設への外国人宿泊者(滋賀県観光客入込状況調査)								
	2				目標				
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	コロナ禍により、壊滅的なダメージを受けたインバウンド需要を、収束後速やかに元の水準以上にジャンプアップできるような施策が求められている。	
これまでの見直しや改善等の経過	令和2年度は全てのターゲット市場を休止し、令和3年度より台湾市場を再開し、コロナ収束後の速やかな誘客に対応できるよう準備を進めていく。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input type="checkbox"/> A. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	コロナ禍により効果的な情報発信を行うことは出来なかったが、認定通訳ガイド育成事業等の実施により受入体制の整備を行った。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	外国人宿泊客数はコロナ禍の影響で激減したため、これに伴い観光消費額も激減した。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	コロナ収束後、速やかにインバウンド需要を受け入れられるよう、受入体制を中心に整備を行った。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	コロナ禍により情報発信を制限した状況下においても、コロナ収束後の誘客を見込み、受入体制を中心とした整備に努めた。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	コロナ収束後の観光業は、マイクロツーリズム、国内、海外の順に誘客に取り組む必要がある。観光需要全体を元の水準以上まで戻すためには、インバウンド需要の回復が不可欠であり、適切な時期に効果的な施策を実施していく。
部局長コメント	コロナ収束後を見据え、インバウンド事業の推進につながる環境の整備等に努めること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	97.61 %	93.80 %	10.95 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-3.90 %	-88.32 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,201 千円	2,033 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	398 千円	351 千円	573 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-11.91 %	+63.46 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	259		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課
事務事業名	01389 (公社) びわ湖大津観光協会運営補助事業	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	福井 美穂

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市補助金等交付規則、(公社) びわ湖大津観光協会運営補助金交付基
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		第2期大津市観光交流基本計画
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	03	広域観光プロモーションの充実		
重事	01	情報の収集、分析及び発信			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	(公社) びわ湖大津観光協会運営補助金	

事業の概要
 公益社団法人びわ湖大津観光協会の人件費等にかかる運営補助金及び宣伝事業・イベント開催にかかる経費を支援している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	天津市における観光資源を開発し、来訪者の誘致促進を図ることにより、観光事業の健全な発展と観光を通じた地域経済の活性化及び文化の振興並びにインバウンドを推進するため。
対象 (何又は誰を)	公益社団法人びわ湖大津観光協会
手段 (どのようなやり方で)	協会の運営事業(人件費等)、宣伝事業、イベント開催にかかる経費を支援する。
成果 (どのような状態にするのか)	公益社団法人びわ湖大津観光協会運営事業の拡充を図ることによる観光交流の推進及び観光入込客数の増加

＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		73,561	63,695	51,511	63,475	65,754	
人件費 B		4,100	8,300	6,560	6,560	6,560	
事業費合計 A+B		77,661	71,995	58,071	70,035	72,314	
事業費の内訳	国	2,424	756	1,250	500	0	地方創生推進交付金
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	8,785	0	2,201	3,654	0	地域振興基金等
	一般財源	66,452	71,239	54,620	65,881	72,314	
職員数(人)		0.50	1.00	0.80	0.80	0.80	
職員数の内訳	正規	0.50	1.00	0.80	0.80	0.80	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	補助金額	千円	目標	77,684	78,715	62,309	63,410	65,754	
				実績	73,561	63,695	51,512	-	-	
	(公社) びわ湖大津観光協会に対する補助金額									
	2	補助事業数	件	目標	12	12	12	12	12	
実績				11	9	9	-	-		
補助対象事業数										
成果指標	1	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	12,903	12,903	
				実績	13,430	12,903	7,563	-	-	
	1月～12月までの観光入込客数									
	2	実施イベント観客数	千人	目標	455	455	455	368	368	
実績				398	368	65	-	-		
ライトアップ事業・大花火大会・その他誘客促進事業の入込客数										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	本市観光行政の発展に寄与すべく、観光協会の安定的な運営と事業実施の為に補助金を支出しているが、公益社団法人として自立的に運営していく為の収益事業の検討等が喫緊の課題である。	
これまでの見直しや改善等の経過	大津市補助制度適正化方針等に基づき、平成24年度から随時補助制度の見直しを行っている。令和元年度からは2本の事業補助金が自主財源へ移行した。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	当協会は、本市の観光振興に寄与することを目的に設立された公益社団法人であり、観光事業に携わる事業者が構成員となっている。観光事業を協働して進める相手方としては妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、観光入込客数等が減少した。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	観光事業者により構成され、観光に特化した事業推進が可能な当協会が地域や他団体と協力して事業を実施することは効果的であり、効率性がある。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	協会が地域や事業者との窓口になることで、市の施策が効率的に実施できている。
---------	--	---------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>市と協会の役割分担を明確にし、今後も相互に協力しながら効果的な連携及び観光行政の推進を図っていく。また、補助金の適正化を図りつつ、公益社団法人として自立的な運営が出来るよう、公益目的事業率の範囲内で収益事業の割合を高めるよう促していく。</p> <p>連携を密にし、効果的な事業推進を図ること。また、当該協会の自立性を高めるため、自主財源の確保等についても、検討を続けること。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1 95.92 %	92.16 %	54.02 %
	指標2 87.47 %	80.87 %	14.28 %
成果増減率	指標1 - %	-3.92 %	-41.38 %
	指標2 - %	-7.53 %	-82.33 %
活動単位コスト	指標1 1 千円	1 千円	1 千円
	指標2 7,060 千円	7,999 千円	6,452 千円
成果単位コスト	指標1 5 千円	5 千円	7 千円
	指標2 195 千円	195 千円	893 千円
コスト増減率	- %	-1.62 %	+197.13 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	60				
部局名	市民部	所属名	スポーツ課	所属長	足立 寿通
事務事業名	03400	国際スポーツ大会等招致事業	記入者	牧野 淳	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	大津市スポーツ推進計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関連する個別計画	
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	04	スポーツ観光の推進		
重事	01	大津の特長を活かしたスポーツの推進			
関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称	
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	国際スポーツ大会等招致事業費	
事業の概要	国際スポーツ大会等の開催を契機に、チームキャンプ地等の招致活動やホストタウン事業の推進を通じて、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るなど、スポーツを通じた観光を推進する。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	国際スポーツ大会への機運を高めるために
対象 (何又は誰を)	市民を対象に
手段 (どのようなやり方で)	国際スポーツ大会の啓発イベントの実施やホストタウン交流事業を推進することにより
成果 (どのような状態にするのか)	参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		2,569	45,671	1,900	5,031	10,444	
人件費 B		2,050	10,292	5,658	7,626	4,510	
事業費合計 A+B		4,619	55,963	7,558	12,657	14,954	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	3,624	0	0	0	
	一般財源	4,619	52,339	7,558	12,657	14,954	
職員数(人)		0.25	1.24	0.69	0.93	0.55	
職員数の内訳	正規	0.25	1.24	0.69	0.93	0.55	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指標名	単位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	啓発イベント・交流事業の実施回数	回数	目標	6	6	3	3	6
				実績	4	18	1	-	-
国際スポーツ大会の啓発イベント及びホストタウン交流事業の実施延べ回数									
活動指標	2			目標					
				実績					
成果指標	1	啓発イベント・交流事業の参加人数	人	目標	3,000	3,000	1,500	500	2,000
				実績	11,356	18,989	221	-	-
各事業の参加延べ人数									
成果指標	2			目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	2019ラグビーワールドカップ、東京2020オリ・パラ等の開催により、市民のスポーツに対する関心、機運は高まりつつあったが、新型コロナウイルス感染拡大により、事業の推進に制限がある。		
これまでの見直しや改善等の経過	eスポーツイベントにおいてデンマーク王国の文化紹介及びポート日本代表の指導によるエルゴメーター体験ブースを設けた。またニュージーランドとホストタウン登録を行った。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	本市がホストタウン登録しているデンマーク王国との交流が進んでいる。東京2020オリパラ関連として、大津市での聖火リレーやニュージーランド代表ポートチームの事前合宿受入に向けた準備を進めている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	スポーツのみならず、文化的な交流事業も実施することにより、国際スポーツ大会等を広く周知する絶好の契機となっており、新型コロナウイルス感染症の影響による制限の中でも、ホストタウン事業を実施することができた。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	実行委員会形式で実施しており、効率的である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	スポーツを通じて、デンマークや諸外国と交流する事によって、市民のスポーツに対する関心を高めることができています。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	国際スポーツ大会の周知・啓発を継続・推進していくことで、市民の国際スポーツ大会への関心・機運を高めていく。交流事業やPR活動などを官民連携しながら、継続実施していく。新たにニュージーランドをホストタウンとし、ポート競技等を通じて、交流事業等に取り組んでいく。
部局長コメント	各国との交流イベントなどについては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、地域や関係機関等とも連携しながら、可能な範囲での検討を行うこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	378.53 %	632.96 %	14.73 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+67.21 %	-98.83 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,154 千円	3,109 千円	7,558 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	2 千円	34 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+624.56 %	+1,060.42 %